



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成29年 1月20日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ スミタイチ ハタガツク ツクリタイ

団体名 住みたいまち幡多学区を創り隊

所在地

連絡先

フリガナ カガシ ヨシマ

代表者氏名 会長 長汐 良熊

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	住みたいまち幡多学区を創り隊
事業実施小学校区・地区	幡多小学校
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 2回目 / 【H28年度から】
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「安心・安全 住みたいまち幡多学区」実現のためには、10年後、20年後を担う子供たちが育つ土壌を、今まで作ってくださった先輩方から引き継いでいく担い手が不足している。 私たち現役世代の30～50代は日々の生活や仕事に追われ、自分たちの時間を割いてまでなかなか地域づくりに参画することが難しいと考える人が多い。 興味のある行事に参加する人は多いが、参画してくれる人が少ない。 各町内会や、各種団体でも人材不足が深刻な課題である。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 「安心・安全 <u>住みたいまち幡多学区</u>」を「安心・安全 <u>住み続けたいまち幡多学区</u>」を実現する。 30～50代で10年後を担う子供たちが育つ環境づくりに（学区づくり）に協力してくれる仲間を一人でも多く増やす。 学区内で活躍している体協や消防団、母の会や、各町内の子供会、小学校PTA役員、子育ての会、発達障害を持つ子の会などは、若い世代の方が活躍されているので、一緒に企画を考え、実践し、お互いがよき協力者になることで、繋がりを作り、新しい体制を作る。 関わる人が「楽しく、元気になる」ことをする。

1) 組織・体制をつくります

①若い世代が活躍できる組織・体制を拡大していきます

- ・行事、会議などに参加し、企画運営の協力をしながら、気の合う仲間、思いの近い仲間を見つけ、お互いの協力者になる様、活動をしていきます。
- ・事業に参加した方に声掛けをしながら協力者を募ります
- ・今までPTAや、支援ボランティアなどで活躍されていた方をお願いをしています。
- ・目標として活動するメンバーを20名以上にしていきたいと考えています。

2) 学区内の活性化を図る活動を行います。

① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動

- ・当事者の保護者の方が相談できる会を充実させ、安心して子育てができるための支援（専門家を呼び相談会や、参考図書を充実させる）や、当事者たちが家から出て集えるイベントの支援を行います。
- ・講演会、勉強会、交流会などを実施し、当事者とどう関わればいいかわからない方に対して情報提供を行い、理解者、支援者を増やします
- ・子供たちがお祭りにブースを出したり、行事に参画することで、地域の方と一緒に活動をし、お互いを知り合い、違和感がない環境をつくります

② 地域交流活動（誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営）

- ・田圃として使用していない場所を使って子どもの遊び場をつくります
→「泥んこ遊びの会」を実施します。

遊び内容例 : ソフトバレー、相撲、バランスレースなど

※今年度から発足された幡多小PTAイクメンクラブ(お父さんの会)と協力し企画運営をイクメンクラブ中心に進めていきます。

③ 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)

幡多学区に愛着が持てる、幡多学区をもっと好きになる、そのきっかけとなるシンボル(イメージキャラクター)が必要だと考えました。

誰もから愛され、親しみのある幡多学区のイメージキャラクターを作り、学区を盛り上げていきます。

【進め方】

- ア) 子供たちに(まずは小学生)募集をし、先入観なく、自由な発想で考えてもらったキャラクターと、その名称、キャラクターへの思いを募集します。
- イ) 100件以上を目標に集め、数が集まらない場合は、学区内に一般公募を行います。
- ウ) 本会メンバーと学校評議員会を中心に検討会を実施し、キャラクターの意義、目的、思いなどをまとめます。
- エ) それをもとに、学区の方に自由に参加して頂ける場を設け、広く意見を求めて

	<p>いきます。</p> <p>オ) 集まったキャラクターを数点に絞り、回覧、もしくは電子町内会の掲示板を利用して投票するなど、多くの方にかかわっていただき、みんなのキャラクターとして最終の選考をします。</p> <p>※募集は、先生方とも話し合い、冬休み、春休みを利用し、先行して（1月～3月）に行います。</p> <p>カ) キャラクターは、学区の印刷物で活用する事はもちろん、PRグッズや着ぐるみを作成します。</p> <p>※作成は市内のデザイン学校や企業の協力を得ながら、自分たちの手作りで行います。</p> <p>キ) 着ぐるみキャラクターは色々な地域行事に登場させていきます。(別紙参照)</p> <p>④ 学区内の情報を発信していく仕組み検討</p> <p>前年度一斉メール配信ソフトの予算を確保したものの、仕様内容がまとまり切らず、作成に至らなかった。もう一度仕切り直し、調査・確認・検討し、学区に必要な仕組みを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在学校から、学区、町内から発信している情報を確認調査します。 ・現在ある電子ツール（小学校一斉メール、電子町内会、一般的なSNSなど）で、できることできないことの検証を行います ・今行っている伝達方法（回覧板、掲示板等）などをもとに、どんな機能が必要か検討していきます。
<p>期待される成果・目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活躍する若い世代が増える ・障害者も健常者も意識することなく生活できる ・イメージキャラクターがいることで、笑顔が増える、楽しくなる、明るくなる、元気になる、愛着度が増す。 ・情報伝達の仕組みを一から見直しし、しっかり考える機会が持てる。
<p>企画などの工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やらされた感をなくせるように「お互い様の関係」をつくる。 (行事をする際準備や当日の運営などの人の貸し借りができるようにする) ・老若男女フラットな関係を作り、話し合いの場で意見が言いやすい雰囲気づくりを作る (例えば、あだ名で呼び合う、どんな意見も拾って話題にするなど)

<p>協働する団体等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幡多小学校 PTA (幡多小学校イクメンクラブ含む) ・ 竜操中学校 PTA ・ 幡多学区子育て広場 ・ ウィズはあと (竜操中学校区発達障害を持つ子の保護者の会) ・ おひさま会 (幡多小学校発達障害を持つ子の保護者の会) ・ ほっとステーション ・ 東公民館など
<p>事業の情報公開</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 回覧板を使う。 ② 公民館に掲示する。 ③ Facebook など SNS から発信する
<p>学区地区への広がり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幡多学区連合町内会の下部組織として活動していること、各町内会、各種団体の総会や、事業に参加し PR 活動を行うことと、学区内の方が幅広く参加していただける事業を実施することで、地域に広めていく

◎前年度は、以下の内容を実施することを目標に進めてきました。

1) 組織・体制をつくる

- ・若い世代が活躍できる組織・体制を拡大していく

2) 学区内で行われている行事で見直しを図りたい行事や、解決したい問題で具体的な、改善案（アイデア）を試行し、解決の糸口を見つける（各プロジェクトを立ち上げ、実践する）

- ① 赤田夏祭りプロジェクト（子どもたちの活躍できる場をつくりたい）
- ② 高屋パークフェスティバルプロジェクト（三世代交流をもっと活性化したい）
- ③ 発達障害の理解者増強プロジェクト（理解者を増やしたい）
- ④ 情報発信・共有化プロジェクト（知りたい情報を、伝えたい情報をいち早く受発信したい）

◎昨年を振り返り、反省しながら、今年度は次のように進めていきます。

1) について、学区の数多くの行事に参加・協力してまいりました。そういった活動をふまえて、数名協力者が増えましたが、地道に継続していく以外ないので継続して今年も頑張っています。目標として、約20名の活動するメンバーを創っていきたくと考えています。

2) の事業については、初めての取り組みで、熱意と、思いだけで進めていたので、事業内容、予算についてもご指摘の通り荒い設定になっておりました。

- ・①②は赤田では実現が難しかったですが、高屋パークフェスティバルで、「高屋クエスト」（3世代交流）、発達障害の子どもたち主管ブースでの販売と、実現できました。
- ・③発達障害の理解者を増やすための活動（講演会、映画上映会・講演会等）も多くの参加者や協力者で進めていきました（12月講演 約90名）。
- ・④情報発信、一斉メール配信については、話し合いが不十分で、議論する時間が取れなかったこと、現存するのツールを十分に把握していなかったことから前年予算を確保していただいたにも関わらず、実施することができませんでした。今年度仕切り直して、慌てず、しっかりと検討していきます。

3) 活動を通じて、多くの会や、行事に参加して感じたり、意見をいただく中で、もっと幡多学区に愛着を持って、もっと好きになってもらえる活動はできないものだろうかと思い、愛着度岡山NO1を目指すには、

- ・年に1回、若手スタッフで考えた新たな学区で行う事業を行います。（「遊び場」の有効活用）
- ・イメージキャラクターをみんなで考え生み出し、活用していくこと。思いを1つにし、活動を通じて笑顔や、地域の活性化につなげていきます。
- ・また、幡多小PTAでイクメンクラブ（お父さんの会）が発足したことを追い風に、一緒に頑張れる仲間づくりも期待して本年度進めてまいります。

次年度以降の予定	<p>① 年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根気よく同士を集める。 ・今年度実施した行事を継続していく ・イメージキャラクターを活用し、愛着度おかやまNO. 1をめざす ・情報伝達方法や、内容に関して継続して検討していく <p>②資金の確保について</p> <p>☑次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p>☑ (10) 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>○資金確保の具体的な方策：連合町内会費からの捻出、参加費、後援者からの寄付、その他助成金、</p>
その他PRしたい点	<p>・まだまだ一緒に活動してくれる仲間は少ないが、どの学区よりも熱く、上を見て、前に進んでいると思って活動しております。みんながしたいと思っているだけで、行動に移せていないことを実行し、「あの学区ができるならうちの学区でも」となるように活動を進めていきたい</p>

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容				
	全般	①発達障害	②地域交流	③愛着度向上	④情報発信
4月	キックオフ会議の実施 (事業内容確認、計画立案)	ウィズはあとスタッフ会議 参加(年間行事打合せ)	泥んこ遊び PTAと打合せ	イメージキャラクター会議 (募集は1月~3月)、 目的、意義等検討	
5月			泥んこ遊び 準備会	イメージキャラクター会議 学区内ヒアリング	検討会議
6月			泥んこ遊び 準備会及び安全 対策実施	イメージキャラクター会議 学区内ヒアリング	
7月		そうめん流し (ウィズはあと、子育て広場)	高屋パークフェスティバル実行委員会 参加(ブース出展、イベント企画について) 泥んこ遊び 準備会及び安全 対策実施	イメージキャラクター会議 審査・選考・決定 PRグッズ制作 着ぐるみ制作検討	
8月			「田圃を使っ ての泥んこ遊び」 実施 高屋パークフェスティバル実行委員会 参加(ブース出	着ぐるみ制作	

			展、イベント企画について)		
9月			高屋パークフェスティバル参加 (ブース出展、イベント運営)	着ぐるみ制作	
10月	上期活動反省会および、 下期活動打合せ			着ぐるみ完成 お披露目	検討会議
11月		発達障害の理解を深める講演会準備会 東公民館主催のフェスタに参加(ブース出展)		キャラクター出演 柿まつり	
12月		発達障害の理解を深める講演会準備会		キャラクター出演 小学校登下校 ロードレース	
1月	次年度申請書作成	講演会実施		キャラクター出演 小学校登下校 新年互礼会	
2月				キャラクター出演 小学校登下校	検討会議
3月	下期反省会 事業報告書作成			キャラクター出演 小学校登下校 各学園校卒業式	

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金		204,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金		0	
参加者負担金		0	
協賛金		204,000	連合町内会、交対協など
寄付、他収入		0	
計		408,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
①消耗品費		10,000	①筆記用具、データ保存用メモ等
		20,000	②泥んこ遊び場保護シート
②食糧費		30,000	①会議、準備時のスタッフ茶代150円×のべ100名分 ②着ぐるみ作成時お茶代150円×のべ100名
③印刷製本費		30,000	①講演会用チラシ 6,000枚
		8,000	②ボランティア活動書 100枚
		60,000	③イメージキャラクター PR用パンフレット作成5,000枚
⑥通信運搬費		10,000	封筒、切手代等
⑨使用料		5,000	講演会場、泥んこ遊び会場の水道使用量
⑩原材料費		10,000	①イメージキャラクター缶バッジ 2,000個(材料のみ)
		60,000	②イメージキャラクター着ぐるみ製作材料費 (発砲スチロール、ウレタンスポンジ、布、接着剤等)

		25,000	③泥んこ遊び場看板作成費(紙、ナイロン、コンパネ、杭等)
⑪委託料		60,000	①泥んこ遊び場内安全対策(柄、破片撤去、一部土砂スキトリ等)
⑬報償費		30,000 20,000 30,000	①講師謝礼(1名分) ②託児謝礼 (2,000円×4名×1回、3名×2回計10名分) ④着ぐるみ作成時指導、協力謝礼(デザイン系の学校) 5,000円×6回
計		408,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
-----------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

上記運営予算の立替えができないため

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。